小学生国語　基本文法002　接続語（せつぞく）　練習問題02　解答と解説

日本語の基本文法・接続語の練習問題です。
小学3年生くらいからできる内容ですが、小学生高学年・中学生・高校生も確認のためにやってみるといいでしょう。

問題　次の文の（　）に入る接続語を［　］内から選んで書き入れなさい。

逆接　順接　理由を後に言う時　具体例　具体を抽象に

［　しかし　だから　なぜなら　たとえば　つまり　］

1　博士は大学でクロコダイルやアリゲーターやイグアナを研究している。（　つまり　）爬虫類の専門家だ。
・（　）の前が具体、後がまとめて抽象になっている。

2　キャンプ行くのでいろいろと買い物をしている。（　たとえば　）木炭やテントや寝袋を買った。
・（　）の前が抽象、後が具体になっている。

3　パパは最近フィットネスジムに通っている。（　だから　）少しウエストが引き締まってきた。
・（　）の前が理由、後が結論。

4　鈴をリュックサックにつけて、熊スプレーも準備して行こう。（　なぜなら　）行き先の山はツキノワグマが出ることもあるからだ。
・（　）の前が結論、後が理由になっている。

5　とてもおいしそうに見えるグラタンだった。（　しかし　）実際にはそれほどでもなかった。
・（　）の前で思ったことを、後で否定している。

6　市民マラソン大会で上位に入りたい。（　だから　）毎日早朝に三十分走ることにした。
・（　）の前が理由、後が結論。

7　ヒガラもシジュウカラも同じに見える。（　しかし　）観察を続けると見分けがついてきた。
・（　）の前のことを、後で逆の結果となっているので逆接。

8　いつもの通学路は通れなかった。（　なぜなら　）今日はそこで水道管の工事をしていたからだ。
・（　）の前が結論、後が理由になっている。

9　りんごを大量にもらったので、いろいろな種類のお菓子を作ろうと思う。（　たとえば　）アップルパイやりんごゼリー、アップルアイスクリームなどが考えられる。
・（　）の前が抽象、後が具体になっている。

10　兄は黒胡椒（こしょう）やマジョラム、カレー粉を買った。（　つまり　）スパイスを集めているようだ。
・（　）の前が具体、後が抽象。

11　イオミ君はこれまでマレーシアやベトナム、タイなどの国、（　つまり　）アジアの国々へ旅行したことあるらしい。（　だから　）長距離の飛行機には乗り慣れている様子だった。
・（　）の前は具体的な国名で、後がアジアの国々と抽象化している。
・（　）の前が旅行したことがあるという理由、後が乗り慣れているという結論になっている。

12　今回の旅行の目的地は水族館に決めた。（　なぜなら　）イルカやマンボウが見たかったからだ。（　しかし　）イルカはたくさんいたが、マンボウは一匹もいなかった。どうやら一時的に他の水族館に移されたらしい。
・（　）の前が水族館に行くと言う結論、後が行く理由になっている。
・（　）の前がマンボウを見たい　に対し、後でいなかったと、思うような結果にならなかった逆接になっている。前の文を否定しているわけではない。